

第 20 回医療機関広報フォーラム（オンデマンド）

動画配信による医療機関広報フォーラムを 2025 年 6 月 27 日（金）から 7 月 22 日（火）まで開催します。

プログラム

講義 | 各 90 分

1. 医療機関の広告規制 ウェブサイトの情報発信で注意すべきこと

「やってはいけない広告」「ありがちな違反ケース」とは？

弁護士法人 GVA 法律事務所 パートナー弁護士

早崎 智久

2. 病院の思いを伝える広報誌・ウェブサイト・SNS の文章術

コピーライター／SNS 文章術講師

前田 めぐる

3. 医療広報に生かしたいユニバーサルデザイン

デザイナー

間嶋 沙知

- 主催 公益社団法人 日本広報協会
- 後援（予定） 厚生労働省、（公社）日本医師会、（公社）日本看護協会、（一社）日本病院会、（公社）全日本病院協会、（一社）日本医療法人協会、（公社）日本精神科病院協会、（公社）全国自治体病院協議会、（一社）日本精神科看護協会
- 配信期間 2025（令和 7）年 6 月 27 日（金）13 時から 7 月 22 日（火）18 時まで
- 配信方法 Vimeo によるオンライン配信
※ Vimeo への接続トラブルなどには対応しかねます。ご了承ください。
- 受講費 一般：8,800 円（税込み） 日本広報協会会員：5,500 円（税込み）
※全てのプログラムを受講できます。個別プログラムのお申し込みはありません。
- 申し込み方法 当協会ウェブサイト「第 20 回医療機関広報フォーラム（オンデマンド）」（https://www.koho.or.jp/seminar/medical/medical_vol20）のページにある申し込みフォームからお申し込みください。
お申し込みと同時に、メール『セミナー申込完了のご案内』を送信します。
ウェブフォームからのお申し込みができない場合は、このチラシの裏面にある申し込み書に必要事項をご記入の上、ファクシミリで送信してください。
- 支払い方法 請求書をお受け取り後、6 月 20 日（金）までに受講費を指定口座にお振り込みください。お振り込みが確認された方に、6 月 27 日（金）午前中に受講サイトにアクセスできる ID とパスワードをメールでお送りします。
- キャンセル お申し込み後、キャンセルされる場合は、メール（seminar@koho.or.jp）かファクシミリでご連絡ください。折り返し、所定の手続きについてご連絡します。受講費お振り込みの有無にかかわらず、6 月 20 日以降にキャンセルされる場合はキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。すでに受講費をお振り込み済みの場合は、差額をご返金します。返金口座をご連絡ください。
キャンセル料は下記のとおりです。
 - ・ 6 月 19 日（木）まで：無料
 - ・ 6 月 20 日（金）から 25 日（水）：受講費の 30%
 - ・ 6 月 26 日（木）以降：受講費の全額
- 備考 【メール受信設定のお願い】
送信元は「send@event-form.jp」または「seminar@koho.or.jp」です。これらからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。
- 問い合わせ先 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-15-9 さわだビル 10F 公益社団法人 日本広報協会 事業部
電話：03-5367-1702 ファクシミリ：03-5367-1706 メール：seminar@koho.or.jp

第 20 回医療機関広報フォーラム（オンデマンド） 申し込み書

ウェブフォームからのお申し込みができない場合は、この参加申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお申し込みください。

ファクシミリ：03-5367-1706

ふりがな			
機関名・病院名			
所属部署			
ふりがな		広報経験年数	年 月
氏名			
住所			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス			
一般 ☐	8,800 円	日本広報協会会員 ☐	5,500 円

申し込み受付後、請求書をお送りいたします。

請求書をお受け取り後、6月20日（金）までに受講費を指定口座にお振り込みください。お振り込みが確認された方に、6月27日（金）午前中に受講サイトにアクセスできるIDとパスワードをメールでお送りします。

【メール受信設定のお願い】

送信元は「send@event-form.jp」または「seminar@koho.or.jp」です。これらからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

【キャンセルについて】

お申し込み後、キャンセルされる場合は、メール（seminar@koho.or.jp）かファクシミリでご連絡ください。折り返し、所定の手続きについてご連絡します。受講費お振り込みの有無にかかわらず、6月20日以降にキャンセルされる場合はキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。すでに受講費をお振り込み済みの場合は、差額をご返金します。返金口座をご連絡ください。

キャンセル料は下記のとおりです。

- ・ 6月19日（木）まで：無料
- ・ 6月20日（金）から25日（水）：受講費の30%
- ・ 6月26日（木）以降：受講費の全額

（個人情報の取り扱いについて）

下記記載の事項につきご確認いただき、同意いただける場合は申し込み書に必要事項をご記入の上、当協会宛お送りください。

- ・ ご記入いただきます個人情報（氏名、所属、住所、電話番号、ファクス番号、メールアドレス、経験年数）につきましては、当セミナーの受付業務ほか、セミナーにおける教育サービスの実施目的に限って利用し、法令に基づく開示請求があった場合、ご本人の同意があった場合その他特別の理由のある場合を除き、第三者に提供いたしません。
- ・ 今回取得させていただく個人情報に関しては、開示するよう請求することができます。また、万一登録内容が不正確または誤りであることが判明した場合は、速やかに訂正・削除に応じさせていただきます。
- ・ 当協会が当該情報を利用、提供している場合であっても、申し込み者から中止の申し出があった場合は、それ以降当協会での利用、他者への提供を中止する措置をとります。
- ・ 個人情報の開示、訂正、削除、利用・提供の中止の手続き方法、その他個人情報に関するお問い合わせ・ご相談に関しては、下記までご連絡ください。

【個人情報に関するお問い合わせ・ご相談窓口】 公益社団法人日本広報協会 情報管理推進委員会（電話：03-5367-1701）



講義 1 | 約 90 分

医療機関の広告規制

ウェブサイトの情報発信で注意すべきこと

「やってはいけない広告」「ありがちな違反ケース」とは？

早崎 智久（弁護士法人 GVA 法律事務所 パートナー弁護士）

より多くの患者さんに来てもらうために、様々な媒体で情報発信をしている医療機関は多いと思います。自院のウェブサイトのほか、電車やバスの広告や雑誌の企画広告、インターネット広告。最近は、SNS を活用した広告も増えています。注意したいのが医療機関の広告規制です。どんな情報発信、広告が NG になってしまうのか、事例を紹介しながら、病院・クリニックの広告ルールのポイントを、分かりやすく解説します。

※ウェブサイトや SNS などの広告規制に関して、早崎氏にご質問がある場合は、5 月 16 日までに公益社団法人日本広報協会「広報フォーラム」担当宛にメール（seminar@koho.or.jp）に、質問内容をお送りください。セミナーの中で早崎氏にお答えいただきます。

（時間の都合上、すべての質問にお答えできない場合がありますので、ご了承ください。）

■早崎 智久（はやさき ともひさ）

弁護士法人 GVA 法律事務所 パートナー弁護士。法科大学院修了後、最高裁判所司法研修所、福島県内の大手弁護士事務所での勤務を経て、GVA 法律事務所に入所。医療・美容・ヘルスケアチームのリーダーとして、レギュレーションを踏まえた新規ビジネスのデザイン、景表法・薬機法・健康増進法などの各種広告規制への対応、医療情報に関する体制の整備などを専門としている。一般社団法人価値と事実研究会理事、MEDISO（厚生労働省「医療系ベンチャー・トータルサポート事業」）サポーター。



講義 2 | 約 90 分

病院の思いを伝える

広報誌・ウェブサイト・SNS の文章術

前田 めぐる（コピーライター／SNS 文章術講師）

広報誌やウェブサイト、SNS など、患者さんに情報を発信するツールはさまざまです。ツールの特性に合わせて、患者さんに寄り添った具体的な情報を適切に発信することは、病院への信頼を深めるために欠かせません。今回の講座では、分かりやすい文章の基本から、「伝える」を「伝わる」に変える文章の極意、コミュニケーションを深める言葉の使い方まで、地域医療を担う病院として信頼される文章術のポイントを学びます。

■前田めぐる（まえだ めぐる）

コピーライター／SNS 文章術講師。企画制作会社でコピーライター、プランナーとして広告の企画立案から制作、自治体事業の商品開発などを経験し独立。企業の販促支援、事業アイデア支援を行うかたわら、発想法・文章法の講座、創業者向け交流型ワークショップなどを開催。著書に『その敬語、盛りすぎです!』『この一冊で面白いほど人が集まる SNS 文章術』（いずれも青春出版社）など。日本広報協会広報アドバイザー、危機管理広報アドバイザー。



講義 3 | 約 90 分

医療広報に生かしたい

ユニバーサルデザイン

間嶋 沙知（デザイナー）

デザインは、情報を分かりやすく伝えるために重要な役割を果たす要素です。「ユニバーサルデザイン」とは、文化・言語・国籍・年齢・性別や障がいの有無、能力差などを問わずに、誰もが利用できることを目指したものの。色や文字、言葉、レイアウトなど、どんな媒体にも必要なデザインの考え方です。より多くの人に情報を届けるための「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた情報発信の方法を学びます。

■間嶋 沙知（まじま さち）

デザイナー。大学卒業後、桑沢デザイン研究所の夜間部に学ぶ。東京、高知のデザイン事務所を経て、2016 年に独立。高知市を拠点に県内外の企業、店舗、個人、団体のサービスや商品に関わるデザインを手がける。目下の関心はアクセシビリティ。「個々の良さが発揮される風通しの良い世界」にデザインで貢献することを目指して活動している。著書に『見えにくい、読みにくい「困った!」を解決するデザイン [改訂版]』（2024 年／マイナビ出版）。